

(豊平地区) 地域活動について

意見要旨	説明・回答要旨
冒頭で「これまで茅野市が作り上げてきたまちづくりのやり方が、上手く機能しなくなっている。」という説明があったが、原因は何だと思うか。 個人的には、「時間が足りなくなってきていること」が原因だと考えている。遊びや仕事に追われて時間が無く、地域の活動に時間が割けないのであれば、DX 化を推進して時間を生み出すことが大切。市内の大学と連携して、企業の DX 化を推進するモデルを作ってみてはどうか。	(市長) 大きな原因は、日中に時間を作りやすい専業農家や自営業者が減ったことと、共働き世帯が増えたことだと思う。ただこれは、社会の変容に伴う仕方のない変化なので、足りない時間を生み出す工夫をしていかなければいけないと思う。

(豊平地区) 消防団員の確保について

意見要旨	説明・回答要旨
大学へ行ったまま就職するなどして、地元へ帰ってこない若者が多く、消防団の団員確保が非常に難しい。団員が少なければ、消防車も出せず、有事の際には対応に苦慮すると思われるので、若者が地元へ帰って来たいと思えるような施策を展開していただきたい。 また、ここで、茅野市消防団の総合計画の改定があり、豊平分団は、団員数が3分の2になった。しかし、活動自体は変わっていないので、団員一人当たりの負担は今後増えていくことが予想される。財源なども含め、メリットがあったかと思うが、若者が地元へ帰ってくる施策なども含めて、団員のなり手が確保しやすい状況を作っていただくなどのケアもお願いしたい。	(市長) 定数を今のままにしても、それほど団員が入らないため新陳代謝がおきず、活動している団員の充足率は改定後とあまり変化はないと考えている。 ご意見があったように、地元へ若者が帰ってきてくれるような住みやすい環境を作ること大切だと思う。 また、「消防団に入らないといけない」と考えてくれるような情報を伝えていくことや、地域の皆さんで団員を支えていく雰囲気を作っていくことは、非常に大切なことだと思う。 今後、災害時の活動を見据えた車両を配備していく予定。 市として、これからも、若者が茅野市に住んでくれる、住み続けてくれる環境を作っていきたい。

(豊平地区) 防災について

意見要旨	説明・回答要旨
能登半島地震を踏まえて、国は、昨年 12 月から避難所の開設、運営に関わるガイドラインを改正してきている。 冒頭の説明で述べた「安心・安全で住みよいまち」であるためには、防災は不可欠な要素だと考える。 ガイドラインの改正を受けて、今後の防災に対する茅野市の考えがあれば教えていただきたい。	(防災課長) ガイドラインの改正を受けて、長野県は、地震防災対策アクションプランを策定し、令和 8 年、9 年の 2 年間で整備していくこととしている。 プラン内での茅野市全体の被害想定は、避難者数が約 13,000 人で、その内避難所へ避難される方は、約 8,500 人となっている。 そのため、2 年間で受入れ可能な体制へ整備していく予定。併せて、国からのプッシュ型の支援が避難所へ届くまでの約 3 日間を各家庭の備蓄で乗り切っていただく必要があるという情報も周知していく。

(豊平地区) 財政について

意見要旨	説明・回答要旨
令和 5 年、6 年に借換債を発行しているが、どのようなものか。また、なぜ発行したのか。	(財政課長) 令和 5 年度、6 年度の借換債は、地方自治体の借金と言われる起債のうち、民間の金融機関からの起債は基本的に期限が 10 年と決まっており、期限内に返済できなかったものについては、新たに起債し、期限を延長することとなっている。 (副市長) 令和 5 年度、6 年度の起債については、当初から 30 年で償還する計画だったが、仕組み上、起債は 10 年が期限と決められているため、借換債を行っているので、当初から予定はされていた。

(豊平地区) 消防団へ配備される多機能消防車について

意見要旨	説明・回答要旨
市から消防団に配備していただく車両について、活動に必要で不足するものは前もって準備をしておきたいので、仕様を教えてください。	(総務部長) 装備としては、災害時に使用するチェーンソーや小型ポンプなど、非常に細かく整備されている。また、追加の装備の積載は、重量制限等もあるので、ご準備いただく必要は無いと思う。 ただし、いわゆる屯所に配備が必要な地域ならではの装備の場合は準備していただく必要がある。

(豊平地区) 側溝の整備について

意見要旨	説明・回答要旨
側溝の工事について、細いものを入れていただくことがあるが、4～5年で壊れてしまう。もう少し強度のある側溝を整備していただきたい。	(建設企画課長) 市で側溝の工事をする際は、基本的に新しいものと取り換えているが、場所や損傷具合等によって、取り換えではなく、補修を行う場合もある。いずれにしても、損傷した側溝については、まず建設課へご連絡いただきたい。

(豊平地区) 地域コミュニティと公民館活動について

意見要旨	説明・回答要旨
先ほど、区やコミュニティの担い手不足は、「時間が足りなくなっていることが原因である。」という話があったが、もう一つの要因は、「知識とマインド」ではないかと思う。知らないで携わろうとせず、気持ちが向かないのだと思う。資料3ページに、「やらざあ100人衆」の記載があり、当時のことを勉強してみたが、まさに茅野市全体でテーマ性のある活動ができていた。次の段階	(市長) 25年前の茅野市は、公民館活動が非常に活発だった。学びと自治が公民館活動のテーマだったが、いつからかカルチャーセンター化してきている。 いわゆる「やらざあ100人衆」の市民活動は、公民館活動を経験した人が、活動しているので、非常に上手くいった。多くの横のつながりも生まれた。

として、地域コミュニティへの展開が手つかずとも感じる。そんな中、2, 3年前から市長が公民館活動の重要性を打ち出してきているが、具体的なイメージを教えてください。	地域コミュニティについて、過去には充実させていくという話があったが、これは、6市町村合併を見据えて、地域内分権を確立していく必要があったためだと思われる。現在、前提として合併は無いので、地域コミュニティも大切だが、公民館活動も含めて市全体としてのまとまりも改めて大切にしていくべきだと思っている。
--	---

(豊平地区) 環八ヶ岳構想について

意見要旨	説明・回答要旨
先ほど、八ヶ岳周辺市町村で、入山料の徴収方法等で連携していくという話があったが、鉢巻道路を山麓一円で開通させる計画はあるか。	(市長) 環八ヶ岳での連携はまだ議論の途中だが、それとは別に、八ヶ岳周辺の観光振興を目的の一つとして、県と協議している。県は、単独の市町村よりも、環八ヶ岳のような圏域や自治体間で連携した取組に予算を充てることが多いので、そういった意味でも、環八ヶ岳の連携を強化していきたい。